

東紀州長期実習を終えて

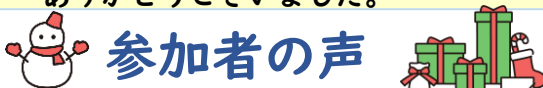
松本 栄(東紀州実習担当)

今年度の東紀州実習で、私にとってうれしい出来事がありました。

心配性な私は、実習が半ばにさしかかってからも院生の様子が気になり、尾鷲市の宿泊先、天満荘に車を走らせました。夕方、天満荘に着くなり、ずっと私の目に飛び込んできたのは、1週間の献立表です。「3人で相談して、料理を作っているみたいですよ。」と管理人の松井さんが、笑顔で教えてくださいました。しばらくすると、院生が実習先から帰ってきました。「先生、ごはんを食べながら、学校のことやいろんなことを話すんですよ。」「3人でミニ勉強会もしてるんです。」「ぐっと仲が深まったみたいです。」とののはつらつとした声が聴けました。そんな話を聴きながら、織田専攻長が4月に話されていた「共に学ぶ仲間たちとの協働」の言葉を思い出しました。実にこの3人は寝食を共にしながら、思いを語り合い、お互いを高め合っていたのです。

帰りの道中、「今日は中学校の先生と一緒に次の授業の計画について話し合いました。」「もうちょっと実習を長くして研究をしたいのですが。」との声も思い出されました。きっと実習先の学校で同じ仲間として温かく受け入れてもらっているのだと感じました。

院生の学びのために、東紀州実習にご理解とご協力をいただいた尾鷲市、熊野市、御浜町の教育委員会様、小中学校様、県立高校様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



参加者の声

子ども同士の関わりの中で生まれる成長が印象に残りました。登下校、給食、休み時間、掃除など、異学年の子ども同士で関わる場面がたくさんありました。その中で、上級生は「下級生のために」という使命感を持ち、下級生は「上級生のようにになりたい」という憧れを抱いているように見えました。このように、学年を越えた子ども同士の信頼関係のサイクルが続いているから、主体的な子どもたちに育てているのだと感じた。また、担任の先生だけでなく、教職員全員で一人ひとりの子どもを見守り、育てていく姿勢も印象に残りました。
学校経営力開発コース(7期生学卒) 水谷 匡伸

私は尾鷲市立尾鷲中学校で実習をさせていただきました。ちょうど体育祭の準備期間であったため、放課後を利用して体育祭で行われる競技を自主的に練習し合う生徒の姿が印象的でした。特に体育祭当日の生徒の熱量、そして活気に満ち溢れた姿は想像をはるかに上回るものであり、そこで受けたエネルギーは今なお私が研究に励むための原動力になっています。この2週間、生徒だけでなく教職員の方々にも毎日親切に接していただきました。心から感謝しております。今後はこの実習での経験を活かし、成果報告書の完成に努めます。
教育実践力開発コース(7期生学卒) 喜多 一貴

尾鷲市立矢浜小学校で実習をさせていただきました。「わたりの授業は困難」「小規模校は教職員が少なく大変」など、頭の片隅にあった見方を問い直された2週間でした。矢浜小には、わたりだからこぞできること、育つ力を見出し追求する先生方の姿と生き生きと学ぶ子どもたちの姿がありました。また、一人の抱える問題をみんなの問題として捉え、「チーム矢浜」として立ち向かう高い同僚性と協働力がありません。困難な現実と直面した時こそ、私たち教師の真価が問われるのだと思います。自身の教師としてのあり様を見つめ直すとともに、職場づくりへ多くの示唆を得ることができました。
学校経営力開発コース(8期生現職) 佐藤 雅貴

尾鷲高等学校にて実習を行いました。現任校をはじめとした北勢地区での勤務経験しかない私にとって、異なる地域で評価や問いに対して目の前の生徒のために実践を重ねる先生方との出会いは大変刺激的でした。また、ミドルリーダーとしてかかわらせていただくことで自身の研究への厚みが出るとともに、これまでの学びが実践へと昇華していく確かな手ごたえを得ることができ、大変実りある実習となりました。
教育実践力開発コース（8期生現職）吉井 佑太郎

私は熊野市立入鹿小学校で実習をさせていただきました。見知らぬ土地で過ごす2週間。楽しみ半分、不安半分という気持ちを察したのか、子どもたちは温かく私を受け入れてくれました。和気あいあいした雰囲気を取り組んだ授業、一緒に汗をかきながら過ごした休み時間は忘れられない思い出です。指導をいただいた先生方からは少ない人数だからこそ子どもをみとることの大切さなど多くのことを学ばせていただきました。また、同じ教職大学院のなかまと夜が更けるのも忘れて実習校での学びを語り合うことができたのも貴重な経験となりました。
教育実践力開発コース（8期生現職）末澤 孝浩

連携校実習を終えて

松本 裕子（連携校実習担当）

令和6年度の連携協力校長期実習がほぼ終了し、11月28日（木）に報告会が開催されました。7期生12名、8期生8名が、津市・四日市市・鈴鹿市・松阪市等の幼稚園1園・小学校9校・中学校4校・高等学校2校・特別支援学校1校の計17の園・校において、実りある実習をさせていただきました。学修テーマに沿って、一人で複数の学校や園において実習させていただいたり、一校で複数名の院生が実習させていただいたりしたほか、実習時期設定や時間増等に対しても、柔軟にご対応いただきました。お陰様で、学校実践現場に実際に参画して学ぶかけがえのない貴重な機会を頂き、院生は自身の学修テーマを大いに追求することが出来ました。院生からは、下記のような声が届いており、初めてのことに戸惑いながらも院生として主体的で充実した学びをさせていただくことができました。院生の希望実現のためとはいえ、各学校長様を始めとする関係教職員の皆様、或いは管轄の津市教育委員会様・四日市市教育委員会様・鈴鹿市教育委員会様・松阪市教育委員会様・三重県教育委員会様には、大変お世話をおかけいたしましたこと、心より御礼申し上げます。引き続き、来年度の連携協力校実習につきましても、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

参加者の声

津市立西が丘小学校で約半年間の実習をさせていただきました。観察では、担任の先生の働きかけやそれによって学級児童が主体的に行動改善をする様子が見られました。また、放課後や夏休みには担任の先生から働きかけを行う意図やその工夫について話をうかがいました。今回の実習では、学修テーマに留まらず、担任教師として児童と関わる方法を多くの場面で学ぶことができました。来年度から三重県内の小学校で初任者として働かせていただきます。これらの学びを活かし、児童の主体性を育む学級づくりを行なっていきたいです。
学校経営力開発コース（7期生学卒）森田 琴美

私は三重県立白子高等学校で実習をさせていただきました。学部では小中学校で実習を行い、教師を目指すうえでの子どもに対する愛情ややりがいを感じました。今回の実習では私が希望する高等学校という校種で実習をさせていただきました。そのことが、教職大学院に来てよかったなどと思えることの一つです。白子高等学校での実習では、普段の学習指導や生徒指導だけでなく、行事等にも参加させていただきました。より生徒主体となる行事運営の中で、教師がどのように伴走者となっていくかという現場を近くで見せていただくことができました。
教育実践力開発コース（7期生学卒）牧野 果恋

自分自身の学修テーマの研究・考察を行うにあたって、三重県立四日市高等学校にて2週間実習をさせていただきました。生徒が数学の問題演習を行うにあたって、教員が留意すべき点や工夫は何かという点を先生方と共に考えることができました。この実習を通して、数学演習の在り方の知見を深めることができました。このような貴重な機会をいただき心から感謝しております。四日市高等学校の先生方、本当にありがとうございました。実習を通じて得られた知見を今後の研究に生かしていきたいと思っております。
教育実践力開発コース（8期生現職）佐々木 亮輔

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）入試・広報委員会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 ☒ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教育学部・教育学研究科ホームページ <https://www.edu.mie-u.ac.jp/>